

東北ブロック認知症グループホーム連合会 2019 福島大会 — 開催要綱 —

◇大会テーマ

「地域共生社会の一員として」

～ やってきました令和元年！

私たちグループホームが担うべき役割・使命とは ～

1. 主 旨

グループホームが、認知症の切り札としてスタートした介護保険制度も20年余りが経ち、年号も変わり令和の時代になりました。今、私たちのグループホームは、地域住民、他の介護サービス、行政等の目にはどのように映っているのでしょうか。また、グループホームに携わる私たち自身の働く姿勢、専門性などはどのように変化したのでしょうか。

現代社会は、急速に進む少子高齢化のなか、認知症高齢者も毎年増加の一途をたどり、核家族、独居高齢者の増加、晩婚化、共働きの増加、人口減少なども顕著にみられ、経済的不安、介護マンパワー不足も大きな社会問題になっています。

厚生労働省が推進する地域共生社会によって、既存の制度の枠を超えて高齢者・障害者・健常者・子ども達と同じ空間にいるということは、相互に支え合う感情が芽生え、役割、生きがいを持つことで、介護保険制度の基本理念である、自己決定の尊重・生活の継続・自立支援（残存能力の活用）も自然な姿で実現できると思われまます。但し、共生社会の実現のためには、何かと福祉サービスに頼りがちであった私たちの思考を一旦リセットすることも大切であると思われまます。

全国各地には、地域共生施設の先駆的な事例もあり、有名なところで富山型デイサービス、また同じ屋根の下でのグループホームと学童保育の共存、共生型コミュニティサロンなど地域の実情に応じた活動を展開しています。その他にも、介護サービス中の利用者による清掃等の地域活動や企業と連携した有償ボランティア等の報告もあります。

今まで、グループホームでも、買い物・散歩・サロン活動などでの住民交流、地域行事・防災訓練など地域交流、また、認知症啓発活動、介護相談窓口、地域包括支援センターとの連携などを通して地域密着型サービスとしての役割を果たしてきており、その基盤はできていると思われまます。

本大会を通して、グループホームのこれまでを振り返り、これからのグループホームの役割や可能性を明らかにして、私たちが進むべき方向性を確固たるものにしていききたいと思われまます。

2. 主 催 東北ブロック認知症グループホーム連合会 特定非営利活動法人 福島県認知症グループホーム協議会

3. 後 援（予定）

厚生労働省、福島県、福島市、福島県医師会、公益社団法人 福島県看護協会、福島県訪問看護連絡協議会、社会福祉法人 福島県社会福祉協議会、福島県地域包括・在宅介護支援センター協議会、一般社団法人 福島県社会福祉士会、一般社団法人 福島県介護支援専門員協会、(社)認知症の人と家族の会 福島県支部、八戸地区認知症高齢者グループホーム協議会、秋田県認知症グループホーム連絡協議会、山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会、仙台市地域密着型事業連絡会、福島県小規模多機能型居宅介護事業連絡会、福島県定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業連絡会、日本認知症ケア学会、福島民報社、福島民友新聞社

(順不同・一部予定を含む)

4. 会 期 令和元年10月26日(土)・27日(日)
5. 会 場 ホテル福島グリーンパレス
所在地：福島市太田町13番53号
電 話：024-533-1171
6. 定 員 300名 (会員優先)
7. 参加費 無料
8. その他の費用 宿泊費 添付の「宿泊のご案内」をご覧ください。
情報交換会のみ 6,000円(税込み)
9. 日 程

■大会1日目 令和元年10月26日(土)

受付 (11:40)

開会式 (12:30~13:00) 30分

- ・開会の言葉 NPO法人福島県認知症グループホーム協議会 会長 森 重勝
- ・主催者挨拶 東北ブロック認知症グループホーム連合会 会長 蓬田 隆子
- ・東北ブロック認知症グループホーム連合会 表彰式
- ・来賓挨拶 厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室 (依頼中)
福島県知事 内堀 雅雄 氏
福島市長 木幡 浩 氏
公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事 佐藤 和子 氏

基調講演 (13:00~14:00) 60分

演題 「地域共生社会でグループホームに期待すること」

講師 厚生労働省 老健局 総務課 認知症施策推進室 (依頼中)

記念講演Ⅰ (14:15~15:00) 45分

演題 「認知症とともに生きる」

講師 認知症本人のための相談窓口「おれんじドア」代表 丹野 智文 氏

記念講演Ⅱ (15:00~15:30) 30分

演題 「認知症新時代 一どこから来て、どこへ行くのかー」

講師 清山会医療福祉グループ代表 いずみの杜診療所 山崎 英樹 医師

自由討論会 (15:45~17:00) 75分

会場ごとにテーマを設けて会場と一体になってディスカッションを行います。

◇第1分科会

「地域共生社会でグループホームに期待すること」

基調講演を踏まえて、行政、実践者、グループホーム等が活動内容、ビジョンを報告し、将来を見据えた共生社会の有り様を討論します。

コーディネーター	複合福祉施設 リブレ松川	総合施設長	蓬田 隆子 氏
パネラー	福島県 保健福祉部 高齢福祉課		(依頼中)
	福島市 健康福祉部 長寿福祉課		(依頼中)
	福島市内地域包括支援センター		(依頼中)
	地域サロン活動団体		(依頼中)
	グループホーム (県南地区)		(依頼中)

◇第2分科会

「認知症とともに生きる」

700万人とも推計される認知症の人が、住み慣れた地域の中で自分らしく生きるために必要となる、制度・政策、及び有効な自主的な取組みについて討論します。

コーディネーター	NPO 法人 福島県認知症グループホーム協議会	会長	森 重勝 氏
パネラー	公益社団法人 認知症の人と家族の会		(依頼中)
	認知症高齢者見守りSOSネットワーク団体		(依頼中)
	学生 (県内福祉・介護系)		(依頼中)
	グループホーム (県中地区)		渡邊 純子 氏
	グループホーム (いわき地区)		川口 幹子 氏
アドバイザー	認知症本人のための相談窓口「おれんじドア」	代表	丹野 智文 氏
	清山会医療福祉グループ代表 いずみの杜診療所	代表	山崎 英樹 氏

情報交換会 (18:00~)

■大会 2 日目 令和元年 10 月 27 日 (日)

受付 (8:30)

実践報告会 (9:00~11:00) 120 分

会場ごとにテーマを設け 6 事例ずつ発表します。その後、会場と一体になってディスカッションを行います。

◇第 1 分科会

「こんな地域交流しています」

グループホームが地域との交流を通して、利用者・家族、さらには地域の住民・行事・活動等の支援へと広がっている実践を報告します。

座長	グループホームかりん	管理者	片山 玲子 氏
発表者	愛の家グループホーム飯坂湯野	管理者	菅野 信也 氏
	愛の家グループホーム	ホーム長	岩本 陽介 氏
	グループホームなでしこ	介護職員	首藤千春氏・橋本遼氏
	グループホーム「サンファミリー」	管理者	幕田 則行 氏
	グループホーム望海の家 (秋田県)	介護リーダー	小川 浩子 氏
	グループホーム南部山さきおりの家 (八戸市)	介護職員	平岡 直也 氏
助言者	仙台市地域密着型事業連絡会	副会長	金澤 康裕 氏

◇第 2 分科会

「私の事業所の自慢できるケア、人材」

うちの自慢できるケアの実践、素敵なスタッフ、魅力的なホームの理念など、自慢したいこと、皆さんに知ってほしいこと、たくさんの自慢が集結します。

座長	グループホーム あったかいごとやの	管理者	菅野 敦子 氏
発表者	グループホームあいの里	統括管理者	吉津 大介 氏
	グループホーム石神	副主任介護職員	栃本 愛子 氏
	グループホームあけぼの	管理者	永嶺 佳也 氏
	グループホームムーミンの森	業務統括主任	菅野 雅仁 氏
	グループホームゆらり (山形県)	介護職員	佐藤 由香里 氏
	グループホームなつぎ埜 (仙台市)	管理者	佐藤 詩帆 氏
助言者	秋田県認知症グループホーム連絡協議会	会長	高橋 祐策 氏

分科会報告 (11:15~11:30) 15 分

閉会式 (11:30~12:00) 30 分

- ・フォトコンテスト結果発表、表彰式
- ・総評 山形県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 会長 佐藤 裕邦 氏
- ・次回開催県挨拶 仙台市地域密着型事業連絡会 会長 蓬田 隆子 氏
- ・閉会の挨拶

■フォトコンテスト

テーマ 「 ともに生きる 」

・大会当日「第5回 マイハピネス フォトコンテスト 2019」を会場にて掲示します。

10. 申込方法

- 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにて㈱日本旅行東北 福島支店へ申込み願います。
- 10月11日(金)頃までに、参加受付済みの文書を送付いたしますので、料金をご確認のうえ、下記の指定口座へご入金をお願いします。
- 申込内容に変更等生じた場合は、申込書を訂正して、再度FAXにてお知らせください。
- 代金送金後の取り消し・変更等によって返金が生じた場合は、大会終了後に宿泊約款により返金いたします。

【振込口座】

金融機関	みずほ銀行 福島支店
口座番号	普通預金 No.1936401
口座名義	(株)日本旅行東北 福島支店

振込期限：令和元年10月17日(木) ※手数料はご負担願います。

11. 申込締切 令和元年10月10日(木) 期日厳守をお願いします。

会員優先とし定員になり次第締切とさせていただきますのでご了承ください。



マイハピネスフォトコンテスト

2019

コンテストの内容

東北大会時、会場内にフォトスペースを作り、「マイハピネス フォトコンテスト」を開催します。皆さんからテーマに基づく事業所内での写真を参加者の投票をもとにコンテストを開催致します。

今年のテーマは「ともに生きる」です！

グループホームで暮らしていく上で入居者同士、スタッフ、家族、地域、動物など様々な関わりの中で入居者さんがくともに生きている>場面を撮った写真が対象です。

表彰

グランプリ	1事業所 (賞品 30,000 円相当)
金賞	2事業所 (賞品 20,000 円相当)
銀賞	3事業所 (賞品 10,000 円相当)

☆投票は各事業所 1 票です。同事業所で複数人参加の場合は話し合い、1つに決めて下さい。

☆投票結果は 2 日目の閉会式の際に発表と表彰を行います。

応募方法: 福島県認知症グループホーム協議会まで写真を添付し事業所名・写真のテーマ名・東北大会時の参加代表者名を記入し、令和元年 10 月 15 日までにメールにてご応募下さい。

* 1 事業所につき写真は 1 枚です。

応募先メールアドレス: fukutyanti@tune.ocn.ne.jp

事務局: 担当 加藤 まで

* 個人情報の取扱いに十分にご配慮下さい。



【会場アクセス】

ホテル福島グリーンパレス

所在地:〒960-8068 福島市太田町13 番53 号
TEL:024-533-1171

【交通アクセス】



【主な駐車場】 ※できるだけ公共交通機関を利用してください

- ① ホテル福島グリーンパレス第二駐車場
- ② GSパーク福島(イトーヨーカドー福島店駐車場)
- ③ 西口駅前パーキング